

新しい地方経済・生活環境創生交付金事業評価シート

		担当課名	企画政策課	事業No.	4
事業名	藍住町情報発信DX化事業【デジタル実装タイプ】				
目的	行政・教育・防災が連携した情報配信システムを構築し、発信力の強化及び情報発信の多重化、広報・教育現場のDX化を同時に図ることで、情報がより住民に伝わる環境を整備する。				
実施内容	情報発信DX化として、システムを2023年度に導入し、システムを活用して町民等への情報発信を行った。 ①住民向け情報配信 システム名「すぐメールplus+」 行政情報及び防災情報を電子メール及び藍住町公式LINEで一斉配信を行った。 ②教育機関向け情報配信 システム名「すぐーる」 町内の教育機関（幼稚園・学校等）と保護者間の連絡をアプリ等で行った。				
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		2023	2024	2025
	住民の登録数(全情報配信サービスの登録者の累計数)	目標	9,000	10,000	12,000
		実績	9,017	11,679	12,378
	住民の登録数(住民向け情報配信サービス)	目標	6,500	7,500	9,000
		実績	7,574	8,188	8,445
	配信数の増加率(教育機関向け情報配信サービス)	目標	10%	30%	40%
		実績	未計測	101%	241%
	各情報配信サービスの満足度(総合)	目標	3.0	3.5	4.0
		実績	未計測	未計測	4.0
	住民向け情報配信サービスの満足度	目標	3.0	3.5	4.0
		実績	未計測	未計測	3.7
	教育機関向け情報配信サービスの満足度	目標	3.5	4.0	4.2
		実績	未計測	未計測	4.2
達成度	A：達成 (B) 概ね達成 C：未達成				

【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2025年度	計画額	実績額	交付金充当額	備 考
事業費				2023年度導入済

【2025年度の取組と課題】

登録者を増やすための取組として、町内全戸に周知用のチラシを配布した。これにより、登録者数は増加したが、住民向け情報配信サービスの登録者数は目標値に至らなかったため、他の方法によるアプローチが今後の課題である。

また、運用に関する取組として、これまで実施できていなかったアンケートを2026年1月に実施した。住民向け情報配信サービスの満足度については、目標値に至らなかったため、アンケートで得られた利用者からの意見や要望などを実現可能なものから運用に反映させるなど、サービス改善に取り組んでいく必要がある。

【今後の取組】

登録者を増やすための取組としては、登録を促進する掲示物の各課窓口への設置や庁舎内外のデジタルサイネージでの広告の配信、他課で配布している通知や封筒などへの登録用二次元コードの記載など、これまでとは異なる方法で多くの方の目に留まる周知を行っていく。

また、サービス満足度の向上のために、定期的にアンケートを実施し、利用者ニーズの継続的な把握に努める。さらに、各課に働きかけを行い、これまで配信していなかった情報などを配信するなど、サービスの運用を活性化させていく。

※藍住町総合計画・総合戦略推進委員会の意見

・特段の意見なし